

# 日本語の「というか」の使い方の特徴の考察

苗 茨

## 1. 問題提起

まず、ある日わたしと娘の間にラインを通じて、交わした会話の内容を紹介したい。

娘：え？スヌーピーのスタンプ買ったん？

私：うん。

娘：え？買ったん？200円？後、机にあるなんちゃら餅食べていーん？

私：餅？何だろう？

娘：(写真) こいつ

私：(スヌーピーのスタンプで) YES！

娘：おけー。てかマジ買ったんすか？ スタンプ

私：そうよ、衝動買い。可愛いっしょ？

娘：マジすかwwwwww かわいっすね

本稿は以上の会話のなかに出てくる「てか」という表現について考察しようとする。

「というか」は慣用文型として、文法書や辞書にもよく紹介されるが、近年の語用論研究では、一連の「配慮表現」、「ほかし表現」の一つとして、そのモダリティ機能について言及されており、社会学においも、若者の「コミュニケーション」、「人間関係」、「心理」等の視点から注目されている。

本稿は談話における「というか」について、その意味用法、使用場面及び話し手の心理をめぐって、用例を交えて考察を行っていかうとする。

なお、日常会話、特に若者の会話においては、「っていうか」、「つうか」、「てか」も同じ意味で使われるのが多く、本稿では、「というか」と同一視

し、用例も四つの表現とも使用している。

## 2. 「というか」の意味についての従来の解釈

先に従来の文法書の解釈を見てみよう。

- ①人やできごとに付いて、「たとえばこんな風にもいえる」という気持ちで印象や判断を挿入的に述べるのに用いる。後に、総括的な判断を述べることが多い<sup>(1)</sup>。

(1)そんなことをするなんて、ほんとに馬鹿というか、困った人だ。

- ②「…というか…というか」の形で人やできごとについて、その印象や判断などを、思いつくままに並べあげるのに用いる。あとに、総括的な判断などを述べることが多い。

(2)そんなことを言うなんて、無神経というか、馬鹿というか、あきれてものもいえない。

- ③「それよりもほかの言い方の」、「うまい表現が見つからない、どう表現したら分かってもらえるかわからない」という意味合いで使われている<sup>(2)</sup>。

(3) — ご旅行楽しかったですか。

— 楽しかったというか、おもしろいというか、とにかく初体験のすごい旅行でしたよ。

これらの解釈は「というか」の慣用表現としての従来の用い方についてのものであり、近年若者が多用する「というか」が談話のなかのモダリティー的な機能については、言及していない。

### 3. 「ほかし言葉」としての「というか」の分析

#### (1) 「ほかし言葉」に関する先行研究

「ほかし言葉」とは、「とか」、「みたいな」、「～て感じ」などのような、物事を判定しないあいまいな言い方をする一連の表現であり、中山（1989）では、それは「判定を避け言葉尻を濁したり、自分の意思を譲歩形の言葉で述べたりすることによって、自分の意見が相手にストレートにぶつかることを避ける」ための表現であると分析している。

辻（1999b）では、「ほかし言葉」には「発話（言語行為）の設定する対人関係を緩衝する」という語用論的機能、すなわち、発話することによって生じる対人関係の軋轢を調節する緩衝機能があると主張し、辻（1999a）では、「ほかし言葉」は相手の感情を害したり、または、自分が相手から嫌われて人間関係が損なわれる恐れがある場合、そうした危険性を回避する手段として、発話者が事象に対して作り出す“距離”によって、「発話主体のタメ化」を図っていると述べた。

また、佐野（1995）では、若者たちは自分の発言の正当性や妥当性に対する不安、聞き手の考えと異なることへの恐れ、またそのことによって仲間から浮いてしまうことへの恐れを持っている。更には、聞き手からそれらのことを指摘されることも恐いのだ。「ほかし言葉」の使用はそうした不安や恐れに対する言語的方策「ストラテジー」である。

その他、彭（2005）における「配慮表現」、三好（2013）における「和らげ表現」の主張もある。

#### (2) 「というか」の談話におけるモダリティー機能

では、「というか」は「ほかし言葉」としてどんな談話の場面で、どんな形で、どのような働きをしているのか、以下、使用場面を八つに分けて、「というか」の用い方、モダリティー的働き及び話し手の心理を分析していく<sup>(9)</sup>。

①適切な表現が見つからず、或いは一つの表現では表わしきれないような場面で、「というか」を用いて、後続の表現を加えることによって、気持ちや物事の描写を伝える。「適切ではないかもしれないが、完璧な表現に近付こうとしている」気持ちが伝わる。二つ並んで使う場合もある。

- (4) 点心っていうか 飲茶とか↑ うーん。
- (5) レディース なんか 円陣 っていうかさー ミーティング っていうか 作戦  
タイムみたいなねー ちょっと 開会式の後とかに はしっ
- (6) あのっ コメントっていうかアドバイスっていうか
- (7) あんまりなー はっ 走っても っていうか 急いで歩いても着崩れするやん 着  
物って それも かなんしなー

②前の発話に不適切な部分があると気づき、それを訂正する場面で、「というか」を用いて、間違った発話を目立たないようにし、相手の注目を後の発話に円滑に誘導していく役割をする。一種の「隠ぺい工作」とも言えよう。

- (9) やりたいというか親がやれというからか わかんない。
- (10) 今まで っていうかー しっ しっ 4、5年前までは きっ きっと うー  
んどうなのかなー よく わたし 分かんないけど、今、よく行ってる場所は  
ねー 世田谷のバイク屋さん。
- (11) もうすぐ っていうかねー、 らいっ 再来年から新しくー ね 建設する と  
かって 言った。

③相手の発話について修正

- (12) — おもしろいね。  
— おもしろいっていうか、なんか、結構視線がクリヤじゃん、とかって感じね。

辻 (1999a) では、「というか」は相手の発話を真っ向から否定することなく、相手の言葉より適切なことばを提示するタメ言語的評価者の立場になると述べている。

相手の発話について、自分の感じとしてはちょっと違うから、修正しますという軽い気持ちで、「というか」を用いていると思われる。

#### ④指摘や批判を和らげる

第三者の評価をする際に、ストレートの指摘や批判はさすがにまずいと思うので、「というか」を用いて、発話にクッションを入れて、緩衝作用を働かせるのである。

この場合、発話の特徴に二つの傾向がみられる。

(13) — ○○先生ってさー東洋的だと思わない？

— うん、思うよ

— 雰囲気柔らかかーい、っていうかさー

— うんうんうん

— 優しいっていうかさー

— 優しすぎるというか

— 「すぎる」ごっつけてもいいぐらいだよな。

(14) 偽善者だよ 偽善者だよ っていう感じ (笑う) っていうかさー まあ わたしー 別に その人のこと 非難するわけじゃないけどさー

例(13)のような発話方式は漸進法で、軽く柔らかい言い方から始まり、「というか」を介して、マイナス評価になっていくパターンである。

例(14)は例(13)と反対に、先に指摘、批判の話しを発したことに対して、その衝撃的なイメージをほかすように、「というか」を用いて、譲歩的な表現をするパターンである。

次の例(15)もこの類に入る。

(15) 本社とか 行って 思ったけど まあ 意外に しっかりしてる っていうかー 結構うん でもね エリート 多いよ 結構。

ここの「意外にしっかりしている」という言い方は皮肉めいている表現であることがあきらかだ。それが話題の会社に悪い、または、自分が口悪い人

と思われる恐れがあると感じ、「とというか」を用いて、「エリート 多いよ 結構」を補足して、まともな評価に変身させるのである。

#### ⑤説明補足（原因）

(16)お婆ちゃんからもらったお金 っていうか合格祝いに んー もらったお金ー あったしね。

(17)昨日の夜も いや 最近ー なんか眠れなくて 全然 眠れない っていうか 頭が あまりにも なんか なんていうのか 張り つめ ちゃう。

以上の例では、「お金をもらった」、「眠れない」理由として、「とというか」を用いて、「合格祝い」、「頭がはりつめちゃう」と詳しく説明を加えている。

#### ⑥補足説明（具体）

(21)ビルの テナントが増えたせいかー テナント っていうか あのー 会社が 入ってる会社の数が増えた っていう かー すごく混むの。

(22)去年はー 忙しかった っていうか 精神的に。

例(21)では「テナント」は具体的に言えば「入っている会社」、そして例(22)では「忙しい」のは「精神的」であることを、ある物事の詳細についての補足という場面での使用である。

#### ⑦言いすぎた発話を和らげる

(23)わたし なんか お金に困るような生活はしたくない って感じ、 っていうか なんていうの そんな 別にさー ざいっ 財閥ー と結婚したい とか そう いうのじゃなくてさー

例(23)のように、自分の発話に対して、突飛だと思われたり、誤解されたりする恐れがあると思い、「とというか」を用いて、その発言を和らげる譲歩的

な表現を加える場面で使用している。

### ⑧発話内容を強調

24)でもそれは女の子はねー原因 作った というか 作ったのね。だから、何かどうしようとか言ってるとか言ってたけど、どうしようって言っても、自分が言ったんだからねー

25)今 考えて (笑う) よく 頑張ってきたよー っていうか 頑張ってきたよね 英文 超頑張ってるよ

「というか」の前後に同じことを繰り返しているようであるが、その発話のなかには、前の発話に対して、何か柔らかい言い方はないかなーと考えてみたけれども、やはり、それは妥当であるという気持ちが含まれており、結果的にはそれを強調することになっている。

### ⑨話題転換

前の話題から完全に関係のない新しい話題に転換するときに使うケースである。例26)では、自身が持ってきた話題を放棄し、それよりも今はこの話題にしたいという気持ちで「というか」を用いている。

26)英語に進歩が見られるようになったわとかって言われてさー っていうか ちゃんと音は入ってるかチェックしない?一応。

次の例は中山ら (2009) で言及したものである。

27) — 寒いねえ。  
— っていうか、昨日のドラマ見た?

中山 (2009) の分析によれば、「一貫した会話ではなく、相手の話を聞かずに、あるいは意図的に無視して、自分の話を始めているの」である。「た

だし、なんの前置きもなく自分の話に入るのはさすがに悪いと思うか、『それよりもほかの話させて』という意味で『っていうか』を挿入しているの」である。

本稿の冒頭で紹介したわが親子の会話はまさに、このパターンの好例になると思うが、確かに娘は会話のなかで、「てか」を使ったのは、自分の興味のある話に切り替えようとしたからであり、しかも一回自ら話題を変えたにもかかわらず、元の話題にもどるようにしていた。中山氏の分析からは若者のこのような表現法に対する不満は多少感じさせられるが、ただ、聞き手としては、気持ちよく受け入れやすいような気がした。そのほかの話題を変えるための表現「ところで、」「ちなみに」などより、よそよそしい感じがなく、遠慮のない会話になっているからだろうか。

#### ⑩話題提起

近年、ネットでのブログや書き込みなどで、いきなり文章の書き出しに「と  
いうか」を使う傾向が出てきている。

(28) っていうかさ、最近の犯罪っちゅうのは若年化してきて怖いわ…

この例はネットでの発言である。このような話題提起の表現は、「唐突」、「話が飛ぶ」などと批判されているが、他人の関心も配慮しながら、注目を集める心理もうかがえなくもない。

## 4. おわりに

以上、「とていうか」の談話における用い方について考察してきたが、若者が多用する「ぼかし言葉」としての使用は、その背景にある日本語の特徴及び日本の国民性にもかかわっていると思われる。そして、外国人学習者の角度からみると、理解しにくく、正確に使用するにも難しいポイントでもある。



今後はアンケート調査のもとで、若者言葉としての「というか」の使用実態を把握し、日本語教育現場での対応法を考えていきたいと思う。

### 注

- (1) 解釈1と2は「教師と学習者のための日本語文型辞典」(グループ・ジャマシイ編著 くろしお出版 1998)の説明。
- (2) 解釈3は『みんなの日本語事典一言葉の疑問・不思議に答えるー』(中山緑朗など編 明治書院 2009)の説明。
- (3) 以下の用例は「日本語母語話者の雑談における『物語』の研究」(李麗燕(2000) くろしお出版)、『日本語の談話におけるフィーラー』(山根智恵(2002) くろしお出版)の付属ファイルから採集したものである。

### 参考文献

- 中山 治 (1989) 『「ほかし」の心理ー人見知り神話が他文化と日本人ー』 創元社
- 辻 大介 (1999a) 「若者語と対人関係ー大学生調査の結果から」『東京大学社会情報研究所紀要』57号
- 辻 大介 (1999b) 『「とか」弁のコミュニケーション心理』『第3回社会言語科学会研究大会寄稿集』
- 佐竹秀雄 (1995) 「若者ことばとレトリック」『日本語学』16(4) 明治書院
- 彭 飛 (2005) 『日本語の「配慮表現」に関する研究：中国語との比較研究における諸問題』和泉書院
- 洞澤 伸 (2011) 「若者たちが使用する『ほかし言葉』“～かな、みたいな”と“～って感じ”の語用論的機能」『岐阜大学地域科学部研究報告』第28号
- 三好準之助 (2013) 「日本語の和らげ表現についてー『試論』の諸問題」京都産業大学論集人文科学系列46